

# 第74期 決算のご報告

平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

証券コード：1827

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに当社グループの第74期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）事業環境、業績および取り組み等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「量より質」の基本方針を徹底して、収益力の強化を図ってまいりました結果、国内・海外ともに完成工事利益率が改善し、第74期は当社が連結決算を開始後の最高の当期純利益を計上することができました。これもひとえに株主の皆様方のご支援の賜物であると感謝いたしております。

今後とも引き続き、ご理解、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



平成28年6月

取締役社長 竹谷 紀之

## 当期業績概況

当連結会計年度の我が国経済は、年度前半は円安や資源価格の下落を背景に企業収益が好転し、雇用や所得環境も改善して緩やかな景気回復基調を継続しておりましたが、年度後半に入ると、中国ショックが東南アジア全体の経済に波及、中国とともに世界経済を牽引していた米国経済にも翳りが見られるなかで、年明けからは円高・株安に転じるなど、景気の先行き不透明感が増してまいりました。

国内建設市場におきましては、政府建設投資は減少に転じましたが、民間非住宅投資が増加基調を維持したことに加え、民間住宅投資も消費増税後の反動減から増加に転じ、平成27年度の建設投資総額は50兆円を維持した見込みです。今後も都心部での大型再開発や、東京五輪に向けた建設投資が期待されておりますが、輸出産業やエネルギー産業など、業界によっては設備投資を見直す動きがあるなど、予断を許さない難しい受注環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、前中期経営計画で掲げた「磐石な収益基盤」を構築するために、「量より質」の基本方針を徹底、国内ではソリューション営業や、工業化・省力化を推進する一方、海外では原価管理の強化やローカル社員の育成に努め、収益力の強化を図ってまいりました。

これらの結果、当期の業績は以下のとおりとなりました。売上高は、建設事業1,139億1百万円（前期比102億71百万円減）に不動産事業他10億87百万円（前期比0百万円減）をあわせ、1,149億89百万円（前期比102億71百万円減）となりました。

損益面におきましては、営業利益は54億81百万円（前期比21億13百万円増）、経常利益は57億95百万円（前期比19億94百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は39億86百万円（前期比12億69百万円増）となりました。

## セグメント別概況

### ■建設事業

当社グループの受注高は、日本783億74百万円（前期比9億60百万円増）に、東南アジア356億92百万円（前期比181億49百万円減）をあわせ、1,140億67百万円（前期比171億89百万円減）となりました。

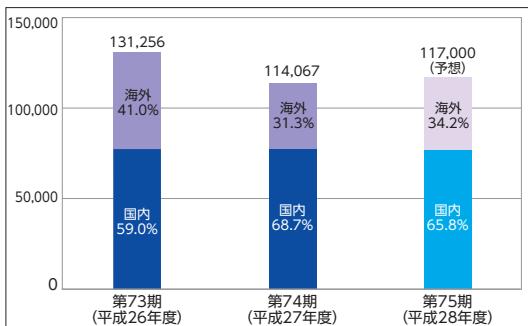
売上高は、日本733億68百万円（前期比70億98百万円減）に、東南アジア405億32百万円（前期比31億73百万円減）をあわせ、1,139億1百万円（前期比102億71百万円減）となりました。また、日本と東南アジアをあわせた当期セグメント利益は50億40百万円（前期比20億51百万円増）となりました。

### ■不動産事業

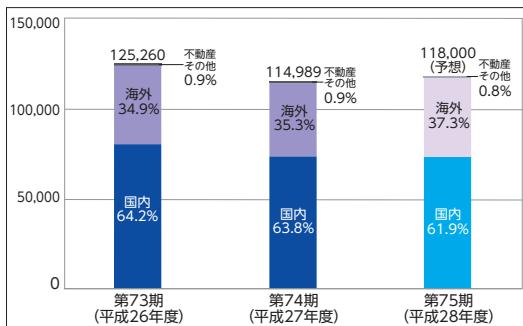
賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、10億13百万円（前期比40百万円減）となりました。また、日本と北米を合わせた当期セグメント利益は4億48百万円（前期比55百万円増）となりました。

## 業績推移

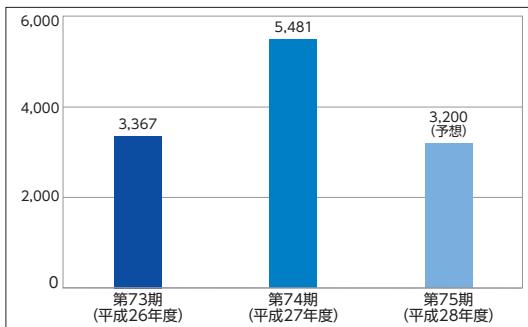
■連結受注高 (単位：百万円)



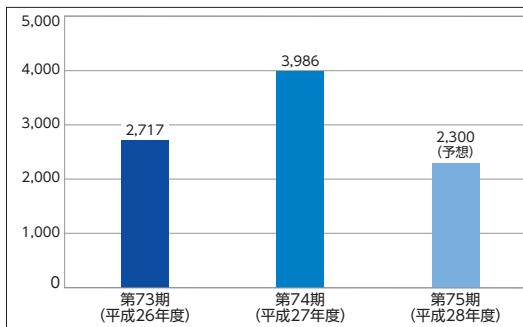
■連結売上高 (単位：百万円)



■連結営業利益 (単位：百万円)



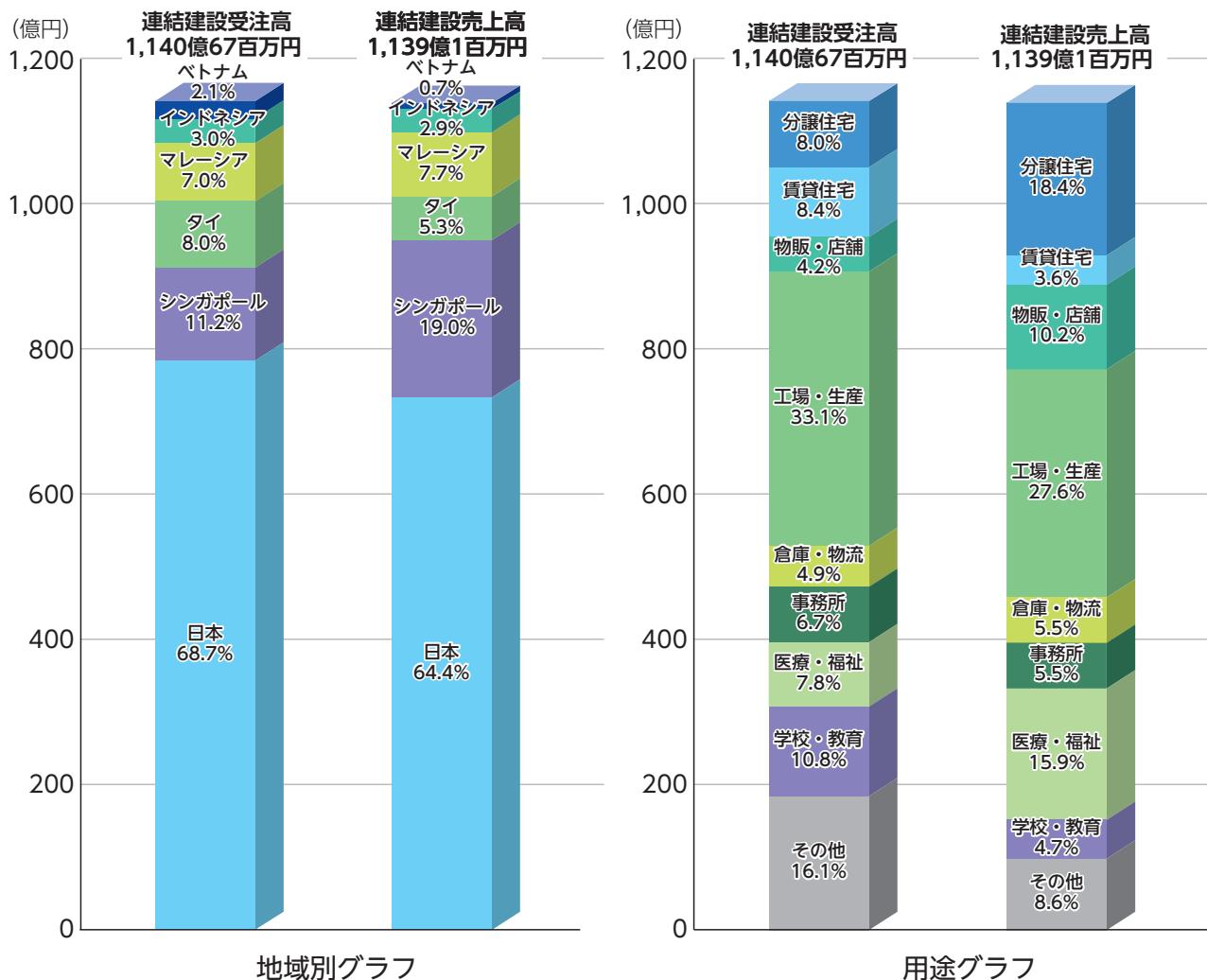
■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 建設事業概況

当事業年度における建設事業の内訳につきましては以下のとおりであります。  
 多様な用途の施工実績を背景とした技術力の高さをご評価いただいております。



# 経営方針

## 経営の基本方針

当社は「誠意と熱意と創意の三意を以て信頼におこたえし」、「社業の発展を通して社会に貢献する」ことを会社経営の基本理念とし、引き続きコンプライアンスを徹底した経営を堅持してまいります。また、平成28年度よりスタートいたしました新中期経営計画（中計77）は、国内外で将来の礎となる強い競争力を構築することに主眼を置いております。今後のマーケット変化に応じて会社を変革し、ナカノフドー建設の新時代を切り拓いてまいります。

## 会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、雇用や所得環境の改善が続くなかで、緩やかな景気回復の持続が期待されておりますが、年初来の円高や株価の低迷が個人消費を鈍らせている上に、海外経済の減速により企業の設備投資の先送り懸念が強まるなど、景気の先行きは不透明感を増しております。

このような状況のなか、当社グループは、「将来の市場環境を見据え、競争力と収益力を更に強化し、国内と海外が一つになって新時代を切り拓く」を基本方針とする新中期経営計画「中計77」を策定いたしました。

国内建設事業におきましては、ソリューション営業の更なる推進により受注力を強化し、また技術力とコスト競争力の強化により高収益体質の確立を図るとともに、将来の受注環境の変化に備え、今後益々市場が拡大するリノベーション事業の強化に注力してまいります。

また、海外建設事業におきましては、各国の状況に応じて営業体制を強化し、受注する建物用途の拡大と新規顧客の開拓に努めて、安定した収益体制を確立するとともに、ローカル社員の計画的な育成と内部管理体制の強化を図り、将来の更なる飛躍に向けた堅固な経営基盤を構築してまいります。

## 中期経営計画概要（平成28年4月～平成31年3月）

**将来の市場環境を見据え、競争力と収益力を更に強化し、  
国内と海外が一つになって新時代を切り拓く**

### 経営目標（平成31年3月期数値目標）

- ① 建設事業売上高合計 1,200億円以上
- ② 連結営業利益 35億円以上
- ③ 連結自己資本 260億円以上
- ④ 株主配当 6円以上

### 国内建設事業の基本方針

5年後の国内建設新築需要の縮小を見据え、収益力の更なる向上を図ると共に、市場が拡大するリノベーション分野の受注200億円を目指して体制を強化する

### 海外建設事業の基本方針

5年後の海外600億円体制を目指し、向こう3カ年は営業体制を整備すると共に、施工面ではローカル社員を計画的に育成して、堅固な500億円体制を構築する

# トピックス

## ■ナカノフドー東松山メガソーラー稼働！

当社は保有資産の有効活用と、再生可能エネルギーの利用による環境負荷低減を通じた社会貢献などを目的として、2015年8月3日より、出力1.5MWのメガソーラー（大規模太陽光発電所）「ナカノフドー東松山メガソーラー」の運転を開始いたしました。

埼玉県東松山市の機材センターの跡地を活用して建設を進めていたもので、約2万6,000㎡の敷地に太陽光パネルを6,192枚並べており、最大発電出力は約1,500Kwhであります。

発電量、日射量、気温等は自動的に測定され、本社に設置された専用モニターを通じて遠隔監視を行っております。また、防犯カメラや赤外線センサーでセキュリティの監視も行っております。

なお、初年度の発電量は計画比22%増の118万Kwhとなり、これは一般家庭約300世帯分の年間消費電力に相当します。また、2016年度の年間発電量は、159万Kwhを想定しております。



## ■植樹活動への参加

当社では、環境に有益な社会貢献活動として、植樹活動に積極的に参加しており、代表的なものは、東京での「海の森植樹活動」と東北での「千年希望の丘植樹活動」でございます。植樹活動は、地球温暖化防止といった環境保全のためのみならず、風の通り道になったり、津波威力を弱める壁になったり、未来の私たちの生活を豊かにするためにも有益な活動です。

今後も、植樹活動をはじめとし、環境に有益な活動に積極的に取り組んでまいります。



## ■「三井アウトレットパーク・クアラルンプール国際空港セパン」 感謝状を授与される！

2015年7月29日、当社グループ会社のナカノコンストラクションSDN.BHD.がマレーシアで施工した「三井アウトレットパーク・クアラルンプール国際空港セパン」で開業式典が行われ、当社は三井不動産株式会社様より感謝状を授与されました。

来賓にはマレーシアのナジブ首相も臨席され、国内外のメディアも多数駆けつけ盛大な式典となりました。



## ■ナカノシンガポール創立40周年記念式典

2015年7月30日、ナカノシンガポール創立40周年記念式典を開催し、大島取締役名誉会長の祝辞の後、永年勤続者の表彰が行われました。

ナカノシンガポールが設立されたのはシンガポールが建国されてから10年目であり、シンガポールが建国50周年を迎える年に40周年となり、シンガポールの発展と歩調をあわせてナカノシンガポールも発展してまいりました。

1975年の設立以降、建設不況や通貨危機などの厳しい状況乗り越えながら育んだ技術とコスト競争力を活かし、今後も引き続きお客様に対する誠実で献身的な質の高いサービスをご提供してまいります。



# 施工実績紹介 (当期完成工事)

## 工場・生産施設



### 岩手工場・北上センター

発注者：株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
設計者：当社  
構造：鉄骨造  
規模：地上2階  
延床面積：30,680.60㎡

## 物販・店舗



### 豊通ラワン3 S ショールーム (マレーシア)

発注者：UMMW豊通モータース  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上2階  
延床面積：6,378㎡

## コンドミニアム



### パームアイルズコンドミニアム (シンガポール)

発注者：フレイザーズセンターポイント  
設計者：Ong & Ong Pte. Ltd.  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：6棟 地下2階 地上5,6,7階  
延床面積：37,545㎡

## 賃貸住宅



### 浜見平団地 (建替) 第2期第2住宅

発注者：独立行政法人都市再生機構  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：3棟 地上4,7,8階  
延床面積：7,269.19㎡

## 倉庫・物流施設



(仮称) 株式会社スズケン名南物流センター

発注者：株式会社スズケン  
設計者：株式会社石本建築事務所  
構造：鉄骨造  
規模：地上3階  
延床面積：33,777.69㎡

## 倉庫・物流施設



阪急阪神ロジスティクス倉庫 (インドネシア)

発注者：阪急阪神ロジスティクス  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：2階建 (一部2階建)  
延床面積：11,856㎡

## 医療施設



千葉労災病院新棟

発注者：独立行政法人労働者健康安全機構  
設計者：株式会社岡田新一設計事務所  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：4棟 地上1,2,4,7階  
延床面積：22,208.89㎡

## 工場・生産施設



イノアックフォーミング増築 (ベトナム)

発注者：イノアック  
設計者：当社  
構造：鉄筋コンクリート造  
規模：地上1階  
延床面積：8,115.83㎡

# 受注実績紹介

## (仮称) 株式会社なとり埼玉新工場建設



「チーズ鱈」や「燻製チーズ」などでおなじみの同社の酪農加工製品の専用工場として建設しており、最先端の生産技術を導入し、製品の更なる安全・安心の向上、品質の向上、生産能力の増強、生産効率の向上を目指しておられます。また、工場内に生産ラインを見学できる通路を設置するよう計画しております。

発注者 株式会社なとり  
設計者 当社  
竣工 2017年2月予定  
構造 鉄骨造  
規模 地上4階  
延床面積 15,780.25㎡  
場所 埼玉県久喜市

## 不二サイエンスイノベーションセンター建設



新たな発想や活発な議論が生まれる「イノベーションを興せる場」であるとともに、研究・開発を主導、継続的に新規事業や新技術・新製品を創出するための研究所となっております。

発注者 不二製油株式会社  
設計者 株式会社吉村建築設計事務所  
竣工 2016年6月予定  
構造 鉄骨造  
規模 地上6階 塔屋1階  
延床面積 9,801.01㎡  
場所 大阪府泉佐野市

## カプリホテル新築



シンガポールの観光名所の一つであるチャイナタウンに建設される、地下2階、地上16階建てのシティホテルでございます。総客室数は304室で、プールやジムなどの施設も併設する計画となっております。

発注者 フレイザーズホスピタリティ チャイナスクエアトラステイ  
設計者 DP ARCHITECTS  
竣工 2019年3月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 地下2階、地上16階  
延床面積 16,000㎡  
場所 シンガポール

## シンガポール インターナショナルスクール バンコク第2期増築



シンガポール式・イギリス式のカリキュラムを採用し、質の高い国際教育を提供する歴史あるインターナショナルスクールの増築工事でございます。

増築部分は、450席の講堂、2階建ての体育館、中学校校舎、200名収容の寄宿舎2棟の合計5棟およびスイミングプールからなる教育施設群となっております。

発注者 シンガポール インターナショナルスクール バンコク  
設計者 Plan Architec Co.,Ltd.  
竣工 2016年9月予定  
構造 鉄筋コンクリート造  
規模 6階建3棟、4階建1棟、2階建1棟  
延床面積 24,729㎡  
場所 タイ

# 連結決算概要

## 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(平成28年3月31日現在)	(平成27年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	56,853	60,757
固定資産	17,123	17,661
有形固定資産	13,553	13,667
無形固定資産	261	318
投資その他の資産	3,308	3,676
<b>資産合計</b>	<b>73,976</b>	<b>78,419</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	50,564	55,098
固定負債	2,532	5,210
負債合計	53,096	60,309
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	20,427	16,614
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	13,997	10,182
自己株式	△31	△30
その他の包括利益累計額	△572	366
その他有価証券評価差額金	567	767
為替換算調整勘定	△592	△214
退職給付に係る調整累計額	△546	△186
非支配株主持分	1,024	1,128
純資産合計	20,880	18,110
<b>負債純資産合計</b>	<b>73,976</b>	<b>78,419</b>

## 連結損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高	114,989	125,260
完成工事高	113,901	124,172
不動産事業等売上高	1,087	1,087
売上原価	104,181	116,831
完成工事原価	103,669	116,252
不動産事業等売上原価	511	579
売上総利益	10,807	8,429
完成工事総利益	10,231	7,920
不動産事業等総利益	575	508
販売費及び一般管理費	5,325	5,061
<b>営業利益</b>	<b>5,481</b>	<b>3,367</b>
営業外収益	401	574
営業外費用	87	141
<b>経常利益</b>	<b>5,795</b>	<b>3,801</b>
特別利益	32	29
特別損失	585	172
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>5,243</b>	<b>3,658</b>
法人税、住民税及び事業税	506	682
過年度法人税等	674	27
法人税等調整額	10	73
当期純利益	4,052	2,874
非支配株主に帰属する当期純利益	65	157
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>3,986</b>	<b>2,717</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,607	△780
投資活動によるキャッシュ・フロー	844	△854
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,244	△2,134
現金及び現金同等物に係る増減差額	△1,873	1,524
現金及び現金同等物の増減額	6,333	△2,243
現金及び現金同等物の期首残高	22,995	25,239
現金及び現金同等物の期末残高	29,329	22,995

## 連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
平成27年4月1日残高	5,061	1,400	10,182	△30	16,614	767	△214	△186	366	1,128	18,110
当期変動額											
剰余金の配当			△171		△171						△171
親会社株主に帰属する当期純利益			3,986		3,986						3,986
自己株式の取得				△1	△1						△1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△200	△378	△359	△938	△104	△1,043
当期変動額合計	-	-	3,814	△1	3,813	△200	△378	△359	△938	△104	2,769
平成28年3月31日残高	5,061	1,400	13,997	△31	20,427	567	△592	△546	△572	1,024	20,880

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別決算概要

## 貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期 (平成28年3月31日現在)	前期 (平成27年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	29,785	30,966
固定資産	17,818	19,818
有形固定資産	12,962	13,038
無形固定資産	253	306
投資その他の資産	4,602	6,474
<b>資産合計</b>	<b>47,604</b>	<b>50,784</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	33,351	36,070
固定負債	1,365	4,405
負債合計	34,717	40,476
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	12,376	9,599
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	5,945	3,167
自己株式	△31	△30
評価・換算差額等	510	708
その他有価証券評価差額金	510	708
純資産合計	12,886	10,308
<b>負債純資産合計</b>	<b>47,604</b>	<b>50,784</b>

## 損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	前期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高	74,381	81,442
完成工事高	73,386	80,468
不動産事業等売上高	994	974
売上原価	66,898	75,668
完成工事原価	66,405	75,104
不動産事業等売上原価	493	563
売上総利益	7,482	5,773
完成工事総利益	6,981	5,363
不動産事業等総利益	501	410
販売費及び一般管理費	4,288	4,113
<b>営業利益</b>	<b>3,194</b>	<b>1,659</b>
営業外収益	108	549
営業外費用	117	130
<b>経常利益</b>	<b>3,185</b>	<b>2,078</b>
特別利益	144	21
特別損失	185	135
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,144</b>	<b>1,964</b>
法人税、住民税及び事業税	208	198
過年度法人税等	—	25
過年度法人税等戻入額	△12	—
法人税等調整額	△0	△0
<b>当期純利益</b>	<b>2,949</b>	<b>1,741</b>

## 株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

	株 主 資 本					評価・換算差額等	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金 資 本 準 備 金	利 益 剰 余 金 そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
平成27年4月1日残高	5,061	1,400	3,167	△30	9,599	708	10,308
当期変動額							
剰余金の配当			△171		△171		△171
当期純利益			2,949		2,949		2,949
自己株式の取得				△1	△1		△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△198	△198
当期変動額合計	—	—	2,777	△1	2,776	△198	2,578
平成28年3月31日残高	5,061	1,400	5,945	△31	12,376	510	12,886

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社概要 (平成28年6月29日現在)

商号	株式会社ナカノフドール建設
創業	昭和8年2月8日
設立	昭和17年12月19日
資本金	50億6,167万8,686円
従業員数	1,314名(連結) 720名(個別) (平成28年3月31日現在)
主要な事業内容	当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。

## 主要な事業所

### 国内

本店	(東京都千代田区九段北四丁目2番28号)
東京本店	(東京都千代田区)
東北支社	(仙台市)
名古屋支社	(名古屋市)
大阪支社	(大阪市)
九州支社	(福岡市)
土木支店	(東京都千代田区)
台東支店	(東京都台東区)
北海道支店	(札幌市)
北東北支店	(八戸市)
茨城支店	(土浦市)
北関東支店	(さいたま市)
東関東支店	(千葉市)
横浜支店	(横浜市)

## 主要な子会社

### 会社名

### 事業内容

### 国内

中野開発株式会社 (東京都千代田区)	不動産事業・その他の事業
--------------------	--------------

### 海外

ナカノシンガポール (PTE.) LTD. (シンガポール)	建設事業
ナカノコンストラクションSDN.BHD. (マレーシア)	建設事業
PT.インドナカノ (インドネシア)	建設事業
タイナカノCO.,LTD. (タイ)	建設事業
ナカノベトナムCO.,LTD. (ベトナム)	建設事業

## 取締役および監査役

取締役名誉会長	大島 義和
代表取締役副会長	浅井 晶
代表取締役社長	竹谷 紀之
取締役	加藤 頼宣
取締役	服部 智
取締役	棚田 弘幸
取締役(社外)	河村 守康
取締役(社外)	福田 誠
常勤監査役	黒河 利秀
常勤監査役	菅谷 昭彦
監査役(社外)	佐藤 俊一
監査役(社外)	山谷 耕平

## 執行役員

取締役 専務執行役員	加藤 頼宣	経理部掌管、経営企画部・総務部担当
取締役 常務執行役員	服部 智	海外事業本部長
取締役 常務執行役員	棚田 弘幸	国内建設事業本部長、業務監査部担当
常務執行役員	梶谷 修	大阪支社長
常務執行役員	山本 孝広	名古屋支社長
執行役員	佐藤 哲夫	経理部担当
執行役員	飯塚 隆	東京本店長
執行役員	外岡 三弥	海外事業本部 副本部長兼営業部長
執行役員	村松 正秀	ナカノシンガポール (PTE.) LTD.社長
執行役員	赤坂 頼義	東北支社長
執行役員	小古山 昇	九州支社長
執行役員	後藤 俊二	東京本店 副本店長
執行役員	野村 昌弘	大阪支社 副支社長

# 株式状況 (平成28年3月31日現在)

## 株式状況

■発行可能株式総数 154,792,300株

■発行済株式の総数 34,498,097株

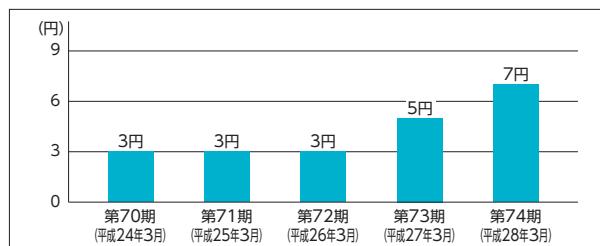
■株主数 4,360名

### ■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人大島育英会	6,756	19.66
関東興業株式会社	3,600	10.47
大島 義和	3,083	8.97
株式会社マリンドリーム	2,000	5.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,647	4.79
株式会社MBサービス	1,200	3.49
有田 信子	1,170	3.40
ナカノ友愛会投資会	775	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	774	2.25
ナカノ従業員持株会	655	1.91

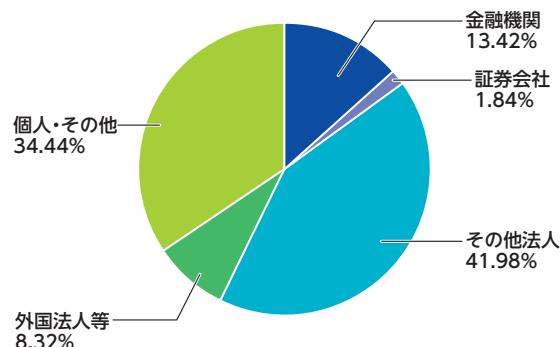
(注) 持株比率は、自己株式 (122,618株) を控除して計算しております。

### ■配当の状況



## 株式分布状況

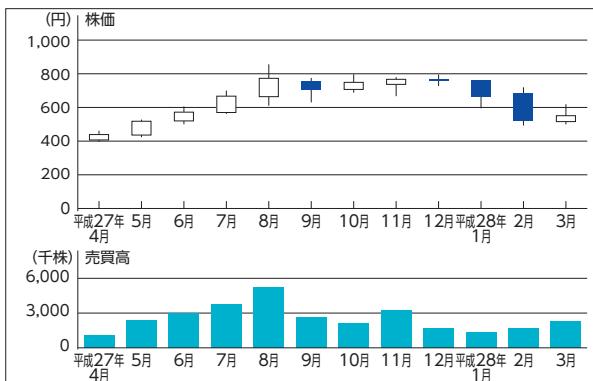
### 所有者別分布状況



**株式数**

金融機関	4,630千株
証券会社	632千株
その他法人	14,482千株
外国法人等	2,870千株
個人・その他	11,882千株

## 株価推移



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日  
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (連絡先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711(通話料無料)
- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。

### <表紙写真>

卸町コミュニティプラザ（復興公営住宅複合ビル）（宮城県仙台市）

## 株式会社 ナカノフード建設

本店 〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号  
TEL 03(3265)4661  
ホームページ <http://www.wave-nakano.co.jp>

## ご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、さまざまな情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。



<http://www.wave-nakano.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



本報告書は植物油インクで印刷しております。  
ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。